

令和2年度藤里町社会福祉協議会事業報告書

1. 活躍支援体制づくり

☆暮らし支援コーディネーター・生活支援コーディネーターの配置

1) 当事者の組織化

◎むつみ会交流会事業（一人暮らし高齢者交流会）

一人で暮らす高齢の方は、生活上で様々な不便を抱えています。会員同士の交流と情報交換の場として実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、5回の予定でしたが1回の開催となりました。

- ① 令和3年3月19日（金）まち自慢クラブ（湯の沢改善センター）
「オンライン体験～画面越しにつながる交流～」 8名参加

◎在宅介護者の集い事業

介護者の方同士の意見交換の場としての交流事業です。新型コロナウイルス感染症拡大のため、宿泊事業は中止しましたが、藤里町ボランティア団体連絡協議会及び精神保健福祉ボランティア等の方々との合同研修として開催しました。

- ① 令和2年11月5日（木） 参加者14名（内介護者4名） 社協3名
- ② 令和2年11月10日（火）参加者10名（内介護者3名） 社協3名
- ③ 令和2年11月18日（水）参加者12名（内介護者2名） 社協3名
場所と内容 秋田ふるさと村 健康づくりウォークラリー参加
秋田県立近代美術館 特別展 見学（横手市）

- ④ 令和3年2月19日（金） 13:00～14:00
場 所 藤里町総合開発センター
参加者 8名（内介護者5名） 社協5名
内 容 オンライン体験～画面越しにつながる交流～
講師 秋田大学大学院 医学系研究科保健学専攻
准教授 佐々木 久長 氏

◎みんなの縁側事業

介護者の方同士の交流とリフレッシュの場として月1回開催しました。

実施回数10回 延参加人数16名

◎知的障がい者家族交流事業

実施日 令和2年11月20日（金）
場 所 にぎわい交流館 AU 県立美術館（秋田市）
参加者 2名 社協1名

◎をとこ組事業

藤里町の全世代の男性を対象に、多彩なメニューで実施しました。

- ① 令和2年 9月17日（木）
場 所 能代市二ツ井町
内 容 カヌー体験
参加者 4名
- ② 令和2年10月 9日（金）
場 所 偕楽荘
内 容 陶芸
参加者 4名
- ③ 令和2年11月26日（木）
場 所 福祉の拠点 こみっと
内 容 パソコンで年賀状
参加者 2名
- ④ 令和2年12月21日（月）
場 所 福祉の拠点 こみっと
内 容 しめ飾り作り
参加者 3名
- ⑤ 令和3年 1月27日（水）
場 所 ゆとりあ藤里 健康保養館
内 容 高橋先生の体操教室
参加者 3名

2) 当事者の活躍支援事業

◎まち自慢クラブ事業

自称60歳以上の方が登録。町自慢の方々が、ときには生徒、ときには講師として、町の良い所を学び、体験し、語り合う「まち自慢講座」「山菜ランチ」「源泉かけ流し温泉」が自慢のクラブです。開催日時 火～金 10:00～14:00

登録者数	129名
実施回数	170回
延べ参加人数	785名
まち自慢講座回数	170回（60種類）
まち自慢講師数	46名
応援ボランティア数	92名（各地区婦人会、ボランティア団体へ依頼）
応援ボランティア活動回数	266回
内指定まち自慢クラブ（通所型A）	実人数11名 延利用回数245回

※新型コロナウイルス緊急事態宣言による休み 4月25日～5月11日間の内5日間
水道、ボイラー工事等による休み 8日間
感染予防で、山菜バイキングは「山菜ランチ」に変えて提供

◎子育て世代の活躍支援事業

チャイルドシート等の貸出事業

乳幼児の安全と健やかな子育てを支援することを目的として、藤里町社会福祉大会のチャリティーバザーの収益金を活用し、チャイルドシート等の無料貸出事業を行いました。

貸出件数計6件

チャイルドシート 6件

ジュニアシート 0件

ベビーベッド 0件

ベビーバウンサー 0件

ベビーカー (A型 B型) 0件

ベビーバス 0件

◎お買い物ツアー事業

月4回(毎週金曜日)

登録者 43名 実施回数 48回 延利用人数 509名

◎生活管理指導員派遣事業 実利用人数 5名 延利用回数 139回

◎軽度生活援助事業 0件

3) プラチナバンク事業の充実

会員の活躍支援を推進するためのプラチナスタッフ(各作業の主担当)を10名配置して、初めて参加する人などのサポート体制を作り、活躍の場を増やしました。

2. 安心・安全体制づくり

☆生活支援コーディネーター・暮らし支援コーディネーターの配置

1) トータルケア推進事業（ネットワーク活動）の充実

藤里町民が安心と活躍のある暮らしを続けることができるように、各関係機関や近隣住民と協力しながら、まちづくりを進めていく事業です。民生児童委員・福祉員・行政・各関係機関・地域の方々と協働で活動しています。

① トータルケア推進連絡協議会の開催

能代山本管内での新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

開催予定日 令和3年1月18日（金）

場 所 福祉の拠点こみっと 大会議室

参加者予定者 30名

民生児童委員 郵便局 駐在所 消防署 山本福祉事務所
役場 地域包括支援センター 社協

内 容 藤里町のトータルケア（ネットワーク活動）の充実について
各関係機関の活動報告 意見交換等

② トータルケア推進連絡協議会代表者会議の開催

開催日 令和3年1月18日（金）10:30～11:30

場 所 福祉の拠点こみっと 大会議室

参加者 9名

民生児童委員1名 駐在所1名 消防署1名
山本福祉事務所1名 役場3名 地域包括支援センター・社協2名

内 容 今後のトータルケア推進連絡協議会のあり方について
各関係機関の活動報告 意見交換等

◎藤里町社会福祉協議会表彰伝達式の実施

新型コロナウイルス感染症拡大で秋田県福祉大会が中止となったため開催

実施日 令和2年11月26日（木）

場 所 福祉の拠点こみっと 大会議室

参加者 被表彰者9名 社協4名

内 容 秋田県知事表彰 3名

秋田県社会福祉協議会会長表彰 6名

◎民生児童委員協議会との連携

毎月1回の定例会への参加（事務局長・地域福祉担当・地域包括支援センター等）

2) 相談・マネジメントの総合的推進

◎総合相談体制の構築（包括的支援体制整備）

- ・成年後見制度等利用支援事業

専門相談所の開設（毎月1回及び必要に応じて随時開設）

「保健・福祉・法律」の専門家による相談所を定期的に開催しました。地域住民の困りごとが深刻化しないように、専門家との相談の機会を町内で確保しています。

11件受付	}	保健関係	0件
		福祉関係	2件
		法律関係	9件

- ・通常相談 8,912件受付

日常業務の中で、相談、要望、苦情、危険等を見逃さず拾い上げることができるように、全職員で統一様式「報告・連絡・相談」の活用を徹底しました。その内容を検証することで、気づきを増やし、業務の改善へつなげる体制を強化しました。

内 容	相談	ヒヤリハット	苦情	認知症	その他	計
介護関係	3,065	1,954	189	968	180	6,356
障害関係	443	136	9	4	18	610
その他	1,336	378	83	11	138	1,946
計	4,844	2,468	281	983	336	8,912

◎地域ケア会議の開催

- ・担当者会議 27回開催
移送サービス、生活支援ハウス利用申請等について協議
(役場・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等)
- ・ケース検討会 48回開催

◎指定相談支援事業所の運営（障害者総合支援事業）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
10件	7件	19件	18件	5件	15件	5件	5件	18件	6件	8件	18件	134件

◎居宅介護支援事業の運営（介護保険事業）

利 用 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要支援・総合事業	42件	41件	41件	43件	45件	45件
要介護	129件	132件	130件	135件	131件	132件

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
49件	52件	54件	46件	46件	48件	552件
133件	127件	123件	115件	115件	116件	1,518件

3) 制度のはざま対象者対策事業

◎資金貸付事業

新規資金貸付状況

たすけあい資金貸付	2件	200,000円
生活福祉資金貸付	0件	0円

◎生活困窮者自立支援事業

- ・就労訓練事業
- ・伴走型支援事業
- ・家計改善支援事業（金銭等管理支援事業） 利用者数20名（内新規7名 終了1名）

◎日常生活自立支援事業 利用者数 8名（内新規2名 終了1名）

◎安心安全の支援事業の拡充（24時間つながるサービス）

24時間オペレーターを配置し、緊急時も含め必要に応じた随時対応サービスを実施しました。

一人暮らし高齢者	対象者	275名	登録者	148名
高齢者世帯	対象世帯	214世帯	登録世帯	71世帯
その他世帯			登録世帯	2世帯
相談通報等件数		203件（内夜間対応8件）		

◎歳末たすけあい運動の実施

募金総額 451,315円（戸別募金 1,045戸）

配分内訳

要介護者	34人	
上記介護者	34人	
在宅障害者（児）等	7人	
町内福祉施設（特養藤里・虹のいえ）	2施設	
虹のいえグループホーム	3カ所	
グループホーム美里園	2カ所	
出生祝い（タオルセット）	4件	
	86件	399,400円
運動諸経費（のし袋等）		51,915円
		451,315円

4) 在宅福祉サービス事業

◎デイサービス事業所の受託運営と展開

利用者一人一人のさまざまなニーズに応えられるサービスの展開に努め、9時30分～16時25分までの利用時間で、年末年始を除く毎日型として提供しております。

開設日 年末年始を除く毎日
 場 所 藤里町総合福祉センター
 定 員 30名/日

通所介護事業所<介護保険対象デイサービス>

(延べ利用人数)

事業対象者	1名	
要支援1	149名	
要支援2	951名	
要介護Ⅰ	2,427名	
要介護Ⅱ	2,924名	
要介護Ⅲ	1,656名	
要介護Ⅳ	576名	
要介護Ⅴ	785名	計 9,469名

◎ホームヘルパー事業所の運営と展開

専門職としての技術の向上に努め、各関係機関と連携しながら利用者の立場に立ったきめ細やかなサービスの提供に努めました。

・訪問介護事業

訪問介護員 常勤4名 (介護福祉士4名)
 パートヘルパー5名 (ヘルパー1級1名・ヘルパー2級2名・介護福祉士2名)

	<介護保険該当延利用者数>	<延利用回数>
事業対象者	29名	121回
要支援1	71名	306回
要支援2	118名	767回
要介護Ⅰ	236名	1,641回
要介護Ⅱ	175名	1,716回
要介護Ⅲ	41名	166回
要介護Ⅳ	20名	378回
要介護Ⅴ	23名	742回
計	713名	5,837回

・定期巡回随時対応型訪問介護看護事業利用者数 実利用人数5名 延利用数28回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3名	3名	3名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	3名

要介護Ⅰ 4名 27回

要介護Ⅱ 1名 1回

・障害者総合支援居宅介護事業利用者数 延利用回数

区分3	3名	
区分2	1名	760回
区分1	1名	

◎移送サービス事業の受託運営（計 274 件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25件	25件	26件	24件	21件	23件	26件	27件	22件	15件	20件	20件

移送サービス事業（障害及び透析：透析はなし）の受託運営（計 34 件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4件	0件	3件	3件	3件	2件	5件	4件	3件	2件	2件	3件

◎生活支援ハウス「ぶなっち」の受託運営（延利用人数 120名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名

◎就労支援事業

・福祉の拠点こみっとの運営（延利用人数 4,459名）

お食事処こみっと	2,477名
大会議室	1,515名
小会議室	321名
サークル室	2名
事務所	86名
印刷機使用	49名
相談	9名

・就労継続支援B型事業（延人数 1,423名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
119名	103名	127名	119名	124名	117名	118名	96名	114名	113名	118名	155名

・自立訓練（生活訓練）事業（延人数 44名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0名	0名	0名	3名	3名	5名	1名	7名	7名	4名	7名	7名

・自立訓練（宿泊型）事業（延人数 568名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30名	31名	30名	31名	47名	60名	53名	44名	62名	62名	56名	62名

・創作・生産活動事業 (延人数 639名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
58名	56名	62名	64名	58名	58名	62名	57名	40名	41名	38名	45名

・地域活動支援センターの受託運営 (延人数 3名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	3名	0名

◎介護予防・日常生活支援総合事業

・安否確認付配食サービス事業

週5回(月曜～金曜)

利用人数 62名(一般50名 総合事業 12名)

延食数 6,674食(一般5,499食 総合事業1,175食)

・安否確認サービス

実利用人数 5名

延利用回数 233回

◎高齢者等除排雪事業

39世帯 257件(玄関前 236件、屋根 21件)

◎除排雪に関する雪下ろし安全講習会への参加

開催日 令和2年12月13日(日) 9:30～11:00

場 所 大沢地区 けやきの館

参加者 38名(町民19名、消防5名、警察9名、
地域振興局1名、社協1名、役場3名)

内 容 1. 県内の事故状況及び事例紹介

講師：秋田県山本地域振興局 地域振興課 1名

2. ロープの結び方講習、梯子の掛け方・雪下ろしの注意事項

3. 福祉による地域活性化対策

1) 地方創生事業

◎人づくり プラチナバンク事業

プラチナバンクは「働くかたち」や「働きかた」など、個人の生活スタイルや希望にあわせて登録。自分の力を活かせる、全世代型の地域活性化人材バンクです。

・登録会員 390名(男性140名・女性250名)

・就労状況

契約件数	就労延人数	契約金額
451件	9,247名	33,469,769円

・作業内容

町民バス運転	46件	259時間
福祉バス運転	67件	276時間
大型車運転（マイクロバス等）	2件	10時間
普通車運転（公用車等）	21件	120時間
移送サービス（介護）	273件	1056時間
移送サービス（障害）	44件	101時間
社協デイサービス送迎車運転	40件	60時間
社協デイサービス介護	143件	1079時間
社協デイサービス見守り	4件	30時間
社協デイサービス看護	1件	4時間
社協厨房調理	728件	3857時間
こみっと業務	145件	903.5時間
ぶなっち日直	100件	100回
社協配食弁当配達	15件	22.5時間
改善センター受付・掃除	842件	4014時間
改善センター宿直	33件	33時間
こみっと厨房調理等	97件	202.5時間
ヘルパー訪問介護	2574件	2377時間
キッシュ製造	168件	851時間
改善センター調理補助	455件	2303時間
宛名書き・賞状名入れ	4件	421枚
清掃・掃除（屋内・屋外）	8件	24時間
剪定	4件	10.5時間
草刈り	84件	392.5時間
剪定（教育委員会）	6件	18時間
草刈り（教育委員会）	14件	38時間
草集め（教育委員会）	2件	5時間
草刈り（浄化センター）	77件	166時間
草刈り（土地改良区）	4件	2日
草取り	73件	438時間
薪運搬	2件	7.5時間
こみっと畑	3件	15時間
軽作業（冬囲い他）	10件	23.5時間
除雪	148件	248時間
総合福祉センター館内清掃	371件	371回
総合福祉センター除雪	32件	145時間
くまげら宿直	365件	365回
くまげら日直	132件	132回
開発センター日直（平日）	243件	243日

開発センター日直（土日祝）	116件	116日
開発センター除雪	36件	102.5件
開発センター雑作業	2件	5.5時間
中学校巡視	365件	730時間
根っこ作業（処理・たたき）	138件	838.5時間
根っこ作業（根っこ掘り）	83件	465時間
栗拾い山菜採り（皮むき他）	84件	340時間
山菜処理（皮むき他）	165件	754.5時間
畑作業（草取り等）	34件	139.5時間
畑耕起	4件	4時間
薬剤散布	2件	6時間
改善センター環境整備	83件	481時間
特養藤里	258件	1579.5時間
水の館	55件	329.5時間
役場宿直	311件	311回
役場日直	68件	68回
役場宿日直	54件	54回
釘抜き	6件	35.5時間
墓掃除	1件	1時間
荷物運搬	1件	1.5時間
チラシ配布	1件	1274枚

・プラチナバンク事業：こみっと活動分

・就労状況

契約件数	就労延人数	契約金額
97件	1,260名	5,231,101円

・作業内容

社協ヘルパー 事務補助	217件	1552.5時間
ぶなっち 掃除	160件	404.5時間
社協グリストラップ	17件	17時間
改善センター掃除	176件	522.5時間
改善センター屋外清掃	2件	6時間
キッシュ製造	68件	293.5時間
特養藤里 介護補助業務	168件	1008時間
特養藤里 洗濯清掃業務	302件	1963時間
日赤事務補助	6件	24件
はがき宛名印刷	2件	95枚
改善センター 根っこ・山菜	11件	23.5時間
墓掃除	1件	1時間
デイサービス（事務補助）	93件	317.5時間
デイサービス（見守り）	37件	296時間

◎仕事づくりとしての湯の沢農村環境改善センターの受託運営

※予定外の休み：22日間

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言による休館4月25日～5月11日間の内14日間
水道、ボイラー工事等による休館 8日間

・施設利用（延利用人数 221名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
部屋	0名	0名	0名	0名	78名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	78名
宿泊	0名	0名	0名	8名	8名	8名	41名	30名	10名	6名	6名	26名	143名

・入浴利用（延利用人数 4,610名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大人	295名	266名	390名	423名	462名	383名	509名	472名	385名	222名	353名	433名	4,593名
子供	1名	3名	3名	1名	0名	2名	1名	3名	0名	0名	0名	3名	17名

・歴史民俗資料館（延利用人数 23名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0名	0名	2名	0名	9名	8名	4名	0名	0名	0名	0名	0名

・白神まいたけキッシュの製造販売

町特産のまいたけを使用して、白神まいたけキッシュを製造・販売しました。

（売上合計 1,490個 2,236,001円）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
69個	26個	31個	113個	180個	98個
109,900円	42,100円	46,800円	160,757円	270,175円	144,990円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
241個	155個	244個	56個	95個	182個
343,973円	220,174円	386,280円	88,550円	146,625円	275,677円

・こみっとうどんの製造販売

讃岐生まれの白神育ち「こみっとうどん」を製造・販売しました。

（売上合計 261,834円）

通常販売	129袋	62,694円
贈答用販売	22箱	33,000円
卸	農村環境改善センター（山菜ランチ）	161,640円
その他	教育委員会（藤里中学校ふるさと学習）	4,500円

・FUJISATO グッドデリの製造販売

藤里の山菜と昔から伝わる食の知恵を活かして和のおかずを製造・販売しました。

(売上合計 1,430袋 855,993円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
62袋	81袋	30袋	181袋	138袋	66袋
33,480円	114,307円	61,106円	92,070円	71,525円	33,430円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
210袋	93袋	175袋	22袋	137袋	235袋
106,420円	47,130円	91,265円	11,640円	71,850円	121,770円

※数量に卸含まず

・山菜ランチ (来客延人数1,958名 売上額計1,412,972円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来客数	83名	156名	152名	221名	145名	187名
売上額	53,450円	108,500円	98,900円	172,550円	111,000円	143,800円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
223名	216名	194名	93名	102名	186名
156,300円	150,900円	133,400円	62,850円	70,750円	150,572円

※感染予防で、山菜バイキングは「山菜ランチ」に変えて提供

・お食事処こみっとの運営 (来客延人数2,477名 売上額計918,480円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来客数	139名	112名	235名	250名	242名	212名
売上額	44,850円	40,960円	90,000円	86,720円	104,110円	96,380円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
253名	198名	205名	170名	213名	248名
108,020円	72,810円	71,880円	54,570円	63,860円	84,320円

・根っこビジネスの展開

まち自慢クラブで下記を10回開催 (11月～3月)

「根っこビジネスの経過報告&藤里産100%本わらび粉でわらび餅試食会」

2) 研修センター事業

◎社会福祉士・精神保健福祉士等実習生の受け入れ

令和2年度実習受け入れ実績 3名

・秋田看護福祉大学学生

精神保健福祉援助実習

令和2年7月20日(火)～8月4日(火) 10日間 2名

・能代支援学校

令和2年度高等部後期実習

令和2年11月16日(月)～令和2年11月27日(金) 8日間 1名

◎視察の受け入れ

視察者8カ所 62名

◎介護福祉士実務者研修の実施

第3回介護福祉士実務者研修修了者 10名(通学6月2日～11月20日)就職率90%

※秋田県委託訓練(離職者等再就職訓練知識等修得コース)として実施

第2回介護福祉士実務者研修受講者4名(通信令和元年12月1日～5月31日)

第3回介護福祉士実務者研修受講者4名(通信10月1日～3月31日)

3) 移住促進に向けた藤里町体験プログラムの充実

◎品川区及び品川区社会福祉協議会との連携

◎プラチナスタッフ等による受入れ体制の強化

◎藤里町体験プログラムの内容の充実

① 藤里体験カリキュラム: 62名

② 資格取得コース: 介護福祉士実務者研修: 18名

③ プラチナバンク登録コース: 0名

④ きらり☆カリキュラム: 0名

4) 赤い羽根共同募金の活用(共同募金委員会との連携)

令和元年度募金総額 1,148,558円(目標1,164,124円)

上記内 令和2年度助成金額 631,579円

・共同募金助成金を活用して下記の福祉事業を実施しました。

広報活動事業(社協だより発行)

チャイルドシート等貸出事業(子育て世代の活躍支援事業)

知的障がい者家族交流会事業

お知らせサービス事業

共同募金運動推進事業

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった藤里町社会福祉大会分の助成金 131,365円は令和3年度社会福祉大会へ繰越となりました。

4.地域福祉推進に向けたビジョンの共有

1) 福祉ニーズの把握

- ◎住民の福祉ニーズの把握（報告・連絡・相談実績の活用）
- ◎各福祉事業の効果・評価の推進

2) 福祉啓発及び福祉教育

- ◎広報「社協だより」の発行 6回発行（No.192～No.197）

◎第45回藤里町社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

開催予定日 令和2年7月18日（土）午後1時開会

場 所 藤里町総合開発センター 2階大ホール

◎福祉座談会の開催 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

◎福祉教育校の指定（共同募金委員会と連携）

- ・藤里小学校、藤里中学校を福祉協力校として指定

◎福祉教育の推進（共同募金委員会と連携）

- ・藤里小学校

今年度はコロナ禍で様々な制約があり実施できる活動が少なかったが、今後も「ふるさとキャリア教育 町づくり学計画」のもと、全校体制で福祉教育の充実を図り、系統的に福祉教育を行っていきたい。学校独自で行うよりも行政や関係機関と連携することで充実した活動になり、児童も達成感や成就感を味わうことができると感じている。

主な活動

地域住民や祖父母による「畑サポーター」の活動

全校生徒で学校花壇への花苗の植え付け、人権の花の植栽式

1、2年生 幼稚園児とサツマイモの苗の植え付け、収穫作業

3年生 市日で、サツマイモの販売

4年生 JA女性部との特産物クレソン調理実習

コロナ禍で訪問できなかった福祉施設へ、育てている人権の花を贈呈

5年生 エスポワール菓子店とのコラボ商品を製作し、道の駅ふたついや市日で販売

6年生 白神手作り工房ちくちくの方々とマスコットや藤里町を宣伝するミニパンフレットを作成し、JR能代駅で観光客へ配布

・藤里中学校

今年度はコロナ禍の影響で、高齢者の方々との交流はできなかった。来年は安全に行える方法を工夫したい。地域での奉仕活動を通して、自分たちにできることを行い、「町の人のためになろう」「町を支えよう」という思いが育ってきている。地域の人々の温かい声かけなどが、生徒の次の活動への意欲につながっている。

主な活動

JRC 登録式

花壇整備作業、一人一鉢運動、花壇の花苗植え

緑の羽根募金（6,753 円を藤里町緑地化推進委員会へ納めた）

地区ボランティア（7月27日（月） 公民館や公共施設の清掃活動）

赤い羽根共同募金（13,344 円を藤里町共同募金委員会へ寄付）

雪かきボランティア（2月10日（水）公共施設等で実施）

ペットボトルキャップ集め

◎ホームページ等での情報発信

藤里町社会福祉協議会事業、行事等の説明・紹介

藤里町社会福祉協議会の活動予定、活動報告

3) 藤里町地域福祉計画・地域福祉活動計画の検証

地方創生の視点で検証会議を行いました。

① 令和3年3月18日（木）10:30～12:50 出席者11名

② 令和3年3月26日（金）10:30～13:00 出席者10名

場所 農村環境改善センター

5.地域を支える人づくり

1) ボランティア活動の推進

◎ボランティア活動の活性化

ボランティア団体連絡協議会の活動支援

ボランティア団体相互の連絡調整並びに情報交換を図り活動を効果的に進めました。

登 録 9団体＝105名

主な活動 湯の沢農村環境改善センター等でのボランティア活動

※おとも苑での活動は令和2年度より無し（令和元年度代表者会議で決定）

※コロナ禍にて、特養「藤里」・社協デイサービスでの活動は中止

研修会の実施

① 令和2年11月 5日（木）参加者14名（内ボラ連6名） 社協3名

② 令和2年11月10日（火）参加者10名（内ボラ連6名） 社協3名

③ 令和2年11月18日（水）参加者12名（内ボラ連6名） 社協3名

場所と内容 秋田ふるさと村 健康づくりウォークラリー参加
秋田県立近代美術館 特別展 見学（横手市）

◎精神保健福祉ボランティアの活用

こころの健康や福祉、精神障害についての理解を深め、みんなが暮らしやすい地域づくりのために、何ができるかを考えることを目的にステップアップ研修を行いました。

(事業対象者：平成21、22、23、26年度精神保健福祉ボランティア養成講座修了者58名 こみっと共同事務所登録団体 こみっと利用者)

ステップアップ実習

実施日 令和3年2月19日(金) 10:30～11:30

場 所 藤里町農村環境改善センター

参加者 6名 社協3名

内 容 オンライン体験～画面越しにつながる交流～

講師 秋田大学大学院 医学系研究科保健学専攻
准教授 佐々木 久長 氏

ステップアップ研修

① 令和2年11月 5日(木) 参加者14名(内精福ボラ4名) 社協3名

② 令和2年11月10日(火) 参加者10名(内精福ボラ1名) 社協3名

③ 令和2年11月18日(水) 参加者12名(内精福ボラ4名) 社協3名

場所と内容 秋田ふるさと村 健康づくりウォークラリー参加
秋田県立近代美術館 特別展 見学(横手市)

◎地域交流事業 新型コロナ感染症拡大のため中止

こみっと感謝祭の開催

開催予定日 令和2年10月10日(土)

場 所 福祉の拠点「こみっと」

2) 住民活動の支援(共同募金委員会と連携)

◎団体活動育成支援

事務局として、また協働事業等を通して、各団体活動の推進を支援しました。

老人クラブ連合会

身体障がい者協会

手をつなぐ育成会

遺族会

ボランティア団体連絡協議会

・こみっと共同事務所の在り方検討会議の開催(共同事務所登録団体数13団体)

国や町の状況も変化していることから、今後の藤里町に必要な団体間の連携や地域福祉事業の在り方について意見交換を行いました。

実施日 令和3年3月25日(木) 11名参加

場 所 福祉の拠点こみっと

6.地域福祉推進役としての組織強化

1) 組織体制づくり

◎外部監査の実施 月1回 (北林会計事務所)

2) 財政基盤づくり

◎社協会員加入促進

令和2年度 加入状況

・一般会員	1, 010世帯	} 84%
・特別会員	53世帯	
・団体会員	2団体	

3) 法人運営

◎理事会の開催

① 令和2年5月27日(水)(理事出席11名 監事出席2名)

議案 令和元年度藤里町社会福祉協議会事業報告(案)について
令和元年度藤里町社会福祉協議会収支決算報告(案)について
令和元年度藤里町社会福祉協議会監査報告について
令和2年度藤里町社会福祉協議会定時評議員会の招集について

② 令和2年10月16日(金)(理事出席10名・欠席1名 監事出席2名)

議案 コロナ禍における事業の推進について

③ 令和2年11月26日(木)(理事出席8名・欠席3名 監事出席1名)

議案 事業の推進について

④ 令和2年12月18日(金)(理事出席10名・欠席1名 監事出席2名)

議案 令和2年度歳末たすけあい運動配分(案)について

⑤ 令和3年3月16日(火)(理事出席9名・欠席1名 監事出席2名)

議案 就業規則の改定(案)について
藤里町社会福祉協議会たすけあい資金貸付規程の改定(案)について
令和2年度藤里町社会福祉協議会補正予算(案)について
令和3年度藤里町社会福祉協議会事業計画(案)について
令和3年度藤里町社会福祉協議会収支予算(案)について
役員等賠償責任保険契約の締結について
令和2年度藤里町社会福祉協議会評議員会の招集について
徴収不能金の欠損処理について

◎評議員会

① 定時評議員会

令和2年6月15日（月）（出席19名・欠席5名・監事出席1名）

議案 令和元年度藤里町社会福祉協議会事業報告（案）について
令和元年度藤里町社会福祉協議会収支決算報告（案）について
令和元年度藤里町社会福祉協議会監査報告について

② 令和3年3月24日（水）（出席18名・欠席5名）

議案 令和2年度藤里町社会福祉協議会補正予算（安）について
令和3年度藤里町社会福祉協議会事業計画（案）について
令和3年度藤里町社会福祉協議会収支予算（案）について
任期満了による理事・監事の選任について

◎監事会

① 令和2年5月21日（木）

令和元年度藤里町社会福祉協議会業務について
令和元年度藤里町社会福祉協議会収支会計について

令和2年度補助金等による事業の実施

◎藤里町補助金（地方創生推進交付金）による実施事業

「人口減少だから輝くまちに事業補助金」（3年目 最終年度）

事業目的：垣根をはらえば活躍の場が広がる町づくりの推進

○女性や若者や中高年層の新規就労を促進するための研修の実施及び 新規研修事業の準備・検討

- ・暮らし支援コーディネーターの配置
- ・キャリアコンサルタントの配置
- ・介護福祉士実務者研修（通信課程）の実施
- ・一般教育訓練給付金制度講座指定
- ・暮らし支援スタッフ講習会の開催 2回

○地域交流事業運営会議及び交流事業の実施による町内資源の有効活用

- ・地域交流事業運営会議 2回
- ・地域交流事業 9回

○地方創生の視点に立った藤里町地域福祉計画・地域福祉活動計画等の段階的実施及び 検証

- ・地域福祉活動計画検証会議の開催
 - ① 令和3年3月18日（木）10：30～12：50 出席者11名
 - ② 令和3年3月26日（金）10：30～13：00 出席者10名
- 場所 農村環境改善センター

◎秋田県新型コロナウイルス感染症対策緊急包括支援給付金（介護分 障害分）

① 感染症対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業で下記を購入

- ・衛生用品等の物品（マスク、消毒液、手袋等）
- ・非接触型検温器、酸素濃度測定器
- ・飛沫防止パネル、フェイスシールド
- ・対話支援機器コミュニケーション

② 在宅サービス事業所における環境整備への助成事業で下記を整備

- ・パソコン、タブレット等のICT機器の購入及び通信環境の整備
- ・網戸、暖房機器の購入による換気設備

◎秋田県就労継続支援事業所への生産活動支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により減収する中、下記の新たな生産活動に取り組み
工賃の確保に努めました

- ・藤里産のそば粉を活用した手打ちそばの提供
- ・お食事処こみっこののぼり、カーテン等を新調
- ・商品の注文フォームのリニューアル ネットショップ「らくうる」開業
- ・グルメガイドブック「日本全国のおいしいお取り寄せグルメ 100」への商品掲載
- ・藤里中学校ふるさと学習への商品提供
- ・贈答用及び新商品用のパッケージ等の購入

◎秋田県介護ロボット等導入推進支援事業費補助金

- ・「移乗サポートロボット ハグ」を導入し、介護従事者の身体的負担の軽減や
業務の効率化、生産性向上による職場環境の向上を図りました。

◎経済産業省サービス産業強化事業費補助金

認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証マッチング事業で
対話支援機器コミュニケーションを試用し、その効果を実証しました。

○講演・実践発表及び視察研修の受け入れ

令和2年度藤里町体験プログラムコーディネート（講演、実践発表等）一覧

藤里町体験プログラムや特産品等、町の魅力を全国へ発信し、丁寧にコーディネートを
行いました

・講演、実践発表等

No	月日	講演・実践発表内容等		参加者数
1	10月20日	東京	内閣府 令和2年度専門分野横断的研修 オンライン	33名
2	2月17日	新潟	新潟県村上地区民生児童委員連絡協議会新年合同研修会 オンライン	60名
3	2月26日	岩手	生活困窮者自立支援事業に係るひきこもりに関する講演会 平泉町にて	80名
				計 173名

・視察研修等の受け入れ

No	月日	視察受け入れ施設等		内容等	参加者数
1	7月30日	藤里	藤里小・中学校教職員	施設見学	16名
2	10月8日	福島	伊達市議会 文教福祉常任委員会	大人のひきこもり対策について	8名
3	10月15日	神奈川	公明党 川崎市議団	プラチナバンク等の取組状況について	4名
4	10月28日	東京	一般社団法人 人とまちづくり研究所	就労的活動の推進体制についてのヒアリング	4名
5	11月5日	三重	ミートの会（三重県議会議員有志の会）	ひきこもり支援の取組について	7名
6	11月12日	大館	北秋田地域振興局大館福祉環境部企画福祉課	ひきこもり支援体制整備について	18名
7	12月7日	秋田	秋田県産業労働部雇用労働政策課就業支援班	就職氷河期のひきこもり支援について	3名
8	12月11日	秋田	中央福祉事務所	ひきこもりの就職支援について	2名
				計	62名